

上下一心委員会事業計画（案）

上下一心委員会 委員長 宮本 真澄

1 世界中を震撼させた新型コロナウイルスの影響は今も尚私たちの生活に大きな影響を及
2 ぼし続けています。それに伴いこれまでの生活様式や価値観を見直す必要が生まれ、約2
3 年間で私たちは暮らしや労働に新様式を取り入れることとなりました。その結果、今まで
4 当たり前と思われていたものから無駄が省かれ、かつ多くのチャンスが生まれたことも事
5 実です。そのために、倉吉青年会議所の活動も委員会運営・事業等においてスマート化及
6 びダイバーシティ化を図り、委員長として時代に即した組織運営へ会員たちを導いていく
7 ことが必要です。

8 まず、本年度、理事長所信の中に記載されている「あそび」を利用して、会員全員で事
9 業構築に向けて協力し合い、会員一人ひとりがより主体的な活動を行う足がかりとしま
10 す。そして、コロナウイルスによって以前と比べて県内で過ごす頻度が高くなっている昨
11 今だからこそ、地域の方々にくらよしの魅力を再発見してもらう好機が訪れています。魅
12 力を伝える事業を行うことにより、地元の人々にくらよしの良さへ再度目を向けてもらう
13 ことができます。我々の活動を契機として、事業の後もくらよしの自然や文化を楽しんで
14 もらうことで、恒久的にくらよしを盛り上げます。また、昨年は桜ずもうの運営方法を刷
15 新したことで、コロナ禍でも開催することができました。今年は規模や慣例に囚われない
16 新たな手法を模索しつつ、これまでの第53代横綱琴櫻の顕彰と青少年の健全育成に重き
17 を置いた運営を行うことで、持続可能な桜ずもうを目指します。さらに、リモート会議を
18 筆頭とした現代ツールを取り入れた新しい運営などを日常的に取り入れ、JC活動における
19 効率化を実現します。効率化により活動しやすい環境が整い、入会が難しかった層の取り
20 込みが可能になり、女性をはじめとしたダイバーシティに則った会員拡大を押し進めてい
21 くことに役立ちます。そして、継続した地域の盛り上げは、個々の団体のみでなく、地域
22 全体で関わっていくことは不可欠なため、盛り上げ部会を通して、三団体の結束を強めま
23 す。

24 一年間の活動を通して、我々青年会議所メンバーはその時代や状況に適応した運営を行
25 うノウハウを身に付けることができます。時代にあった方法を取り入れることにより、女
26 性会員だけでなく、真のダイバーシティとして会員拡大の可能性が広がります。また、委
27 員長として委員会を一本化するという例年にない活動をつとめあげることにより、規模や
28 慣例にとらわれない考えを身に付けます。それを会員に対して伝播することで、その時々
29 で柔軟な発想や対応を思いつける集団へと成長させ、今年のみを取組にとどまらず様々な
30 形で地域の発展に貢献できる団体への礎の年とします。

31 <事業計画>

- 32 1. 総会・理事会・例会運営に関する事項
- 33 2. ホームページ・SNS等による情報発信に関する事項
- 34 3. 会員拡大に関する事項
- 35 4. 新入会員募集の手続き面接に関する事項
- 36 5. 新入会員研修等に関する事項
- 37 6. 京都会議に関する事項
- 38 7. 打吹祭りに関する事項
- 39 8. 全国大会に関する事項
- 40 9. 桜ずもうの運営に関する事項
- 41 10. わんぱく相撲全国大会に関する事項
- 42 11. 会員個々の指導力開発に関する事項
- 43 12. ロマンチック街道313に関する事項
- 44 13. ばえん祭に関する事項
- 45 14. OB、関連諸団体との連絡、調整、交流、連携に関する事項
- 46 15. 盛り上げ部会に関する事項
- 47 16. その他